

様々なご縁に感謝して
—せんりひじり幼稚園 60 周年—

園長 安達 譲
yuzuru@hijiri.ed.jp

せんりひじり幼稚園は、1966（昭和 41）年 9 月に開園し、創立 60 周年を迎えました。60 年という年月を思うと、その長さや重みを改めて感じます。これまで園から巣立っていった多くの子どもたち、その成長をともに見守ってくださった保護者の皆様、そして日々子どもたちに寄り添い、成長を支えてくださった教職員の皆さん。お一人おひとりとのご縁とかかわってくださったみなさんの真摯な努力の積み重ねがあって、今のせんりひじり幼稚園がありますことに心より感謝申し上げます。

10 年前に 50 周年を迎えてからのこの 10 年間には新型コロナ禍や国の制度の変更（こども園化）、夏の酷暑など様々な変化がありました。しかし、どんなときにも「こどもをまんやかに」子どもたちから学び、教職員同士で悩みながら、少しずつ園の教育・保育を進化させてきました。

せんりひじり幼稚園が開園以来大切にしてきたのは、「子どもから学ぶこと」と「その子らしさを大切にする事」です。

子どもたちが遊びや生活の中で、自分なりに考え、試し、友達とつながりながら育っていく。そのそばに、自分も心を動かさ、一生懸命に理解しようとする先生がいる。60 周年を迎えた今も、そしてこれからも変わらず大切にしていきたいと思います。

60 周年を記念して、9 月 3 日に、子どもたちへ記念のおせんべいとミニタオルをお渡しします。また、9 月の誕生日会では、9 月生まれの子どものお祝いとともに、みんなで幼稚園の 60 歳の誕生日もお祝いする予定です。

大きな記念式典やイベントを行うことは考えていませんが、子どもたちと過ごす毎日の中で、これまでの歩みに感謝し、今ここにあるつながりを大切にしながら、年度末に向けて少しずつお祝いを重ねていく一年にしたいと思っています。

子どもたちにとっては、今日もかけがえのない一日です。姉妹園のひじり幼稚園が開園してから 100 年以上に渡り、これまで受け継がれてきたものを大切にしながら、「今」・「ここ」を生きる子どもたちにとって、よりよい園であり続けられるよう、教職員一同、こどもたちからエネルギーをもらいながらこれからも学びながら、悩みながら、歩んでまいります。

これまでせんりひじり幼稚園を支えてくださったすべての皆様に、改めて心よりお礼申し上げますとともに園を巣立っていった皆さんの幸せを心よりお祈りいたします。

これからも子どもをまんやかに、保護者の皆様、教職員の皆さんとともに、歩みを重ねてまいりたいと思います。

60 年間、本当にありがとうございました。



開園のころの園庭と園舎



初代主任の岩井先生と 1 期生